

12月診療分から 子ども医療費助成受給券の対象を 中学3年生までに拡大します

これまで、子ども医療費助成受給券の対象は小学校3年生まででしたが、12月診療分から、受給券の交付対象を中学校3年生までに拡大します。県内の医療機関で受診する場合、「受給券」と健康保険証を提示すれば、窓口の自己負担が、通院1回・入院1日につき2000円または無料となります。

受給券の発行には事前に登録申請が必要です。対象者には申請書をお送りしています。下記の必要書類をそろえて提出してください。期限内に申請のあった方には、11月下旬に一斉送付を予定しています。小学校3年生までのお子さんに交付している受給券をすでにお持ちの方は申請の必要はありません。

必要書類 子ども医療費助成登録申請書、子どもの健康保険証のコピー、市町村税額を証する書類(市民税額を確認できる場合は必要ありません)

提出場所・方法 窓口(子ども支援課・市民課・各行政サービスセンター)、郵送(子ども支援課宛)にて提出してください。

提出期限 10月31日(水) ※期限内に提出いただけないと、助成されない期間が発生する場合があります。ご了承ください。

すこやかちゃん



高田 暖ちゃん
(都部・1歳4か月)

笑顔がキュートな暖ちゃん。その笑顔にみんな癒されています。これからも桃と仲良く大きくなってね。



岡田 琥珀ちゃん
(根戸・1歳4か月)

四人兄弟の末っ子で歳の離れたお兄ちゃんお姉ちゃんに毎日とってもよく可愛がられています。

子ども医療費助成 受給券の更新について

不明な点は、子ども支援課までお問い合わせください。
子ども支援課・内線850・448

0歳～小学校3年生のお子さんを対象に、県内の医療機関で受診する場合、健康保険証をいっしょに提示すると、窓口での自己負担が2000円または無料となる「子ども医療費助成受給券」を発行しています。

8月1日から使用できる新しい受給券は、7月25日に郵送しました。平成24年7月31日で期限切れの受給券は、市役所または各行政サービスセンターまで返却をお願いします。

子ども支援課・内線850・448

わくわく広場 タベのつどい

広場の庭でお祭り気分を味わいましょう！おみこしや盆踊り、生バンドの演奏なども予定しています。

日時 9月1日(土)(雨天時8日(土)に順延) 午後3時50分受付開始(午後5時終了)

内容 うちわ作り、ヨーヨー作り、輪投げなど
※うちわ作り、ヨーヨー作りは参加券が必要です。午後3時50分～4時5分に配布します。

対象 就学前児童とその保護者

参加費 無料

定員 なし

ゲスト うたのロバ、キャロルの会

申込 わくわく広場 ☎718512196

子育て支援ガイドブック

わく²すく²(改訂版)の広告募集

～民間企業と協働発行～

子育て支援ガイドブック「わく²すく²」は、妊娠期から小学校低学年の児童の保護者を対象に配布する情報誌です。子育てのノウハウやお出かけ情報、保育園・幼稚園・学童保育、各種届け出や手当、子育て支援制度、医療機関の情報などをまとめ、広く活用されています。

このたび「わく²すく²」の改訂版を発行するため、掲載する広告を募集します。なお、掲載する広告を募るため、㈱サイネックスが市内の事業所(団体や商店など)を訪問します。詳しくは、同社にお問い合わせください。

発行予定部数 2万部

配布対象 市内の妊娠中の方、小学校2年生以下のお子さんがある世帯、その他子育て支援に関心のある方

仕様 A5サイズ、フルカラー、約70ページ

お問い合わせ 広告の掲載について㈱サイネックス ☎0476-23-6140、☎0476-23-6144 「わく²すく²」について保育課・内線322

～サイコロをふってあびこを旅する～

アビコ・スゴロク

もうすぐ完成します

「我孫子にまつわるクイズや豆知識がマスになったスゴロクを作り、我孫子をもっと知ってほしい」。平成23年度まちづくり探検隊の子どもたちの提案をもとにした「あびこスゴロク」の制作が順調に行われています。



スゴロクは5～6人が囲んで遊べるサイズで、裏面は我孫子の魅力を紹介します。

マスになる我孫子の自然、歴史・文化、特産物などの「クイズ」や「豆知識」を募集したところ、市内全小・中学校から1909件の応募があり、この中から子どもたちが30件を選考しました。完成したスゴロクは、市内小・中学校(小学生は全児童、中学生は希望者)をはじめ、イベントなどを通じて、広く市民の皆さんに配布します。ぜひ、家族や友達と遊んでみて、我孫子の魅力を再発見してください。

子ども支援課・内線497

子育て Q&A 42 百日せき

Q 「百日せき」が流行っていると聞きました。2か月の子どもがいますが、うつらないか心配です。どのような病気ですか？

A 百日せきは、百日せき菌による急性気道感染症で、けいれん性のせきが発作的に起こるのが特徴です。最初は風邪症状から始まり、しだいにせきが激しくなります。飛沫感染のため、咳やくしゃみで感染していきます。母親からの免疫が期待できないため新生児でもかかる場合もあり、6か月未満の乳児は、せきの発作から呼吸困難を起こすことがあるので入院することもあります。夜にせきが多い、コンコンと乾いたせきが数10回連続して出る等の症状があればすぐに医師の診断を受けましょう。

予防接種で防げる病気ですので、生後3か月になったらできるだけ早めに、百日せき・ジフテリア・破傷風混合ワクチン(DPT)の予防接種をしましょう。予防接種前に、近親者が百日せきになった場合は、乳児を近づけないようにしましょう。

<対処方法>部屋の温度、湿度に気をつけましょう。せきがひどい時は、授乳回数や量を調整し、水分補給に気をつけましょう。せきこみで嘔吐することもあるので、誤飲に注意しましょう。

健康づくり支援課 ☎7185-1126

こども発達センター学習会

日時 10月30日(火)午前10時～11時30分

内容 『こどもとコミュニケーションをとろう！～関わりことばを通して～』

講師 湯沢英史さん(社団法人発達協会事務局常務理事)

対象 こども発達センターを利用している保護者、または聴講希望者(先着50人 定員になり次第締め切り、託児有)

費用 無料

申し込み期間 9月3日(月)～10月10日(火)

申込 電話または直接申し込み。我孫子市こども発達センター ☎7188-0472

※当日、託児が必要な方は合わせてお申し込みください。

※駐車場に限りがあります。なるべく公共交通機関をご利用ください。